

# 日本史B

I 次の文章を読み、以下の問い（問1～問5）に答えなさい。

645年、中大兄皇子が中臣鎌足とともに蘇我氏本宗家を滅亡させた。皇極天皇は退位して孝徳天皇に譲位し、その後は、中大兄皇子を中心とした新政権によって中央集権的な国政改革が推し進められることになった。白村江の戦いの大敗後、国土防衛として筑紫に **B** の造築を指示するとともに、対馬・壹岐や九州北部に防人や烽を配備した。このとき中大兄皇子は、大王の位につくことなく政権を担当していたが、668年に正式に即位して国内整備を推し進めた。

天智天皇死後、壬申の乱に勝利した<sup>c</sup>大海人皇子が即位した（天武天皇）。天武天皇は、有力豪族の勢力を排除して天皇に権力を集中させる皇親政治を開始し、律令国家体制の建設を目指した。その後、天武天皇がはじめた諸事業は、持統天皇に引き継がれ、最終的に701年（大宝元年）に、<sup>e</sup> 律と令がともに備わった法典が完成するに至った。

問1 下線部Aの人物が関与したできごとについて説明した記述として、最も適切なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 中央官制を整備するとともに、地方行政組織として「<sup>こおり</sup>評」を各地に設置した。
- b 厩戸王の子である山背大兄王とその一族を滅ぼし、天皇のもとで権力の集中をはかった。
- c 唐からの帰国者である玄昉と吉備真備を国博士として政権のブレインにつけた。
- d 磐井の乱を制圧したのち、直轄地である「屯倉」を列島各地に置いて地方統治を強化した。

問2 空欄 **B** に入る語句として最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 磐舟柵                      b 水城                      c 多賀城                      d 淳足柵

問3 下線部Cに関連して、天武天皇が即位した宮としてもっとも適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 飛鳥浄御原宮                      b 紫香樂宮                      c 近江大津宮                      d 難波長柄豊碇宮

問4 下線部Dに関連して、持統天皇の治世におけるできごとについて述べた次の文A・イについて、その正誤の組合せとして正しいものを下のa～dのうちから一つ選びなさい。

- A 庚寅年籍という戸籍の作成を命じ、藤原京へと遷都した。
- イ 八色の姓を定めて豪族たちを新たな身分秩序に再編成した。

- a ア 正    イ 正                      b ア 正    イ 誤
- c ア 誤    イ 正                      d ア 誤    イ 誤

問5 下線部Eに関する説明として、最も適切なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 刑部親王を総裁に据えて、藤原不比等の主導のもと大宝律令が成立した。
- b 藤原不比等の子供たち藤原四兄弟が大宝律令を改修して養老律令を撰定した。
- c 中央行政として、中央に太政官を置き、その下に正院・左院・右院を配置することが定められた。
- d 地方行政として、全国を五畿七道に区分し、府・藩・県を置くことが定められた。

Ⅱ 次の文章を読み、以下の問い、(問6～問10)に答えなさい。

鎌倉時代に入り、F農業生産力の増大によって商業活動が活発になっていった。とりわけ、原材料作物の収穫が増加したことで手工業品の大量生産が可能となり、手工業品が「商品」として確立する。商業活動の活発化は、貨幣流通を盛んにした。日宋貿易以来、宋銭の大量輸入により貨幣経済が畿内を中心に浸透していき、G為替制度や金融業者も登場するようになった。

貨幣経済は、室町時代に入ると一層広がりをみせる。H室町幕府は、貨幣経済が進展するなかで、銭貨の徴収によって財政をまかなっていた。また、室町前期の海外貿易としては、足利尊氏が後醍醐天皇の善後をとむらうため、J貿易船を派遣した。その後、足利義満が明と国交を結び、勘合貿易によって莫大な利益を上げるようになった。

問6 下線部Fに関連して、鎌倉時代の商業や農業について説明した記述として、最も適切なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 連雀商人や振売と呼ばれた行商人が増加し、なかでも京都の大原女・桂女などの女性が活躍した。
- b 畿内を中心に稲・麦・ソバの三毛作が行われ、麦のかわりに佐胡麻を栽培するところもあった。
- c 農民たちが名主を中心に団結し、荘園や公領内に自立的・自治的な惣村を形成した。
- d 街道や港湾・河川などの交通の要地で、定期的に開かれる三斎市があらわれた。

問7 下線部Gに関連して、鎌倉時代の金融業者に関して述べた次の文A・イについて、その正誤の組合せとして正しいものを下のa～dのうちから一つ選びなさい。

- A 為替の運用を主とし、商品輸送も行う専門業者として馬借・車借が登場した。
- イ 貨幣取引や貸付を専門におこなう金融業者の借上が登場した。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | A | 正 | イ | 正 | b | A | 正 | イ | 誤 |
| c | A | 誤 | イ | 正 | d | A | 誤 | イ | 誤 |

問8 下線部Hに関して、室町幕府の成立過程に関わるできごとについて述べた次の文I～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のa～dのうちから一つ選びなさい。

- I 北条高時の子北条時行によって中先代の乱がおこり、鎌倉が占領された。
- Ⅱ 足利尊氏が京都において建武式目を発表した。
- Ⅲ 高師直と足利直義の対立を軸に親心の擾乱がおきた。

- |   |           |   |           |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|---|-----------|---|-----------|
| a | I - Ⅱ - Ⅲ | b | Ⅱ - I - Ⅲ | c | Ⅲ - I - Ⅱ | d | I - Ⅲ - Ⅱ |
|---|-----------|---|-----------|---|-----------|---|-----------|

問9 下線部Iに関して、室町幕府の幕府財政について説明した記述として、最も適切なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 各地に点在する足利將軍の直轄地である蔵入地からの年貢を財源とした。
- b 債権者が債務者のいずれであっても分一銭を納入した側の権利を保護する制度を導入した。
- c 列島各地の交通の要所を中心に関所を設けて、そこで段銭や棟別銭を徴収した。
- d 内裏造営などの国家的行事費用調達のため、地頭に対して年貢の半分を徴発する半済令を発令した。

問10 下線部Jに関連して、足利尊氏が派遣した貿易船に関わった人物と、その貿易船の名称として正しい組合せを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- |   |      |   |      |   |      |   |      |
|---|------|---|------|---|------|---|------|
| a | 義堂周信 | - | 建長寺船 | b | 義堂周信 | - | 天龍寺船 |
| c | 夢窓疎石 | - | 建長寺船 | d | 夢窓疎石 | - | 天龍寺船 |

Ⅲ 次の文章を読み、以下の問い（問 11～問 15）に答えなさい。

1664（寛文 4）年、4 代将軍徳川家綱は、全ての大名へ一斉に領知行状を発給した。それまでの 3 人の将軍と異なる統一的かつ画一的な発給の仕方は、将軍権力の確立と幕府の安定を示すものであった。ただ、それまでの武断政治による政情不安が課題となっており、κ 文治政治への転換が図られた。家綱政権下における文治政治の方針は、5 代綱吉を経て、新井白石による正徳の治まで継承されていく。

新田開発とともに、ι 17 世紀後半におきた農業技術の進展によって質的な生産力の向上も実現された。農業だけではなく、諸産業も発展した。そのため商業が盛んになり、大量の物資輸送が必要となる。そこで陸上交通のみならず、μ 海や川の水上交通などが整備されていった。

このような経済発展のなか成長したのが、Ν「三都」と呼ばれた江戸、大坂、京都の三都市である。元禄時代における大坂、京都といった上方町人の経済成長を背景にして、上方町人が文化の主體的な担い手となり、ο 元禄文化が花開くことになった。

問 11 下線部 **K** に関して、家綱・綱吉時代における文治政治の特徴について説明した記述として、最も適切なものを次の **a～d** のうちから一つ選びなさい。

- a 家綱の時代には、半人の発生を防ぐため、御家断絶の原因となっていた「末期養子の禁止」が緩和され、当主が 50 歳未満の場合には家の存続をはかることが許可されるようになった。
- b 家綱の時代には、犬馬牛やその他の鳥獣にも及ぶ動物の愛護を命じた「生類憐みの令」が発布されたが、行き過ぎた動物愛護の命令によって、かえって人々は迷惑をこうむることとなった。
- c 綱吉の時代には、武家語法度の第 1 条が「文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事」と改められ、武士たちに対して文武両道をつとめることが求められた。
- d 綱吉の時代には、儒者の林羅山が側近として登用されることになり、その子孫が「林家」として代々幕府に仕えて学問と教育を担うことになった。

問 12 下線部 **L** に関して述べた次の文 **A～I** について、正しいものの組合せを、下の **a～d** のうちから一つ選びなさい。

- A 揚水具として、中国から伝えられた竜骨車が普及していた。
- イ 水田の荒起こし用に、2～5 本に分かれた熊手状の備中鉾が普及していた。
- ウ 選別用の調整具の扱箸が、脱穀用農具の唐箕とともに登場した。
- エ 刈藪・草木灰のほかに、干鰯などの購入肥料である金肥が登場した。

- a A・イ      b A・ウ      c イ・エ      d ウ・エ

問 13 下線部 **M** に関連して述べた次の文 **A・B** とそれに該当する語句 **A～E** の組合せとして正しいものの下の **a～d** のうちから一つ選びなさい。

- A 東北・北陸地方の諸藩の蔵米を江戸や大坂に運ぶための東回り航路や西回り航路を開拓した。
- B 大坂・江戸の定期運行を担い、小型で船足が速く低運賃だったために菱垣廻船を圧倒した。

A 角倉了以      イ 河村瑞賢      ウ 樽廻船      エ 北前船

- a A - A      B - ウ      b A - A      B - エ  
c A - イ      B - ウ      d A - イ      B - エ

問 14 下線部 **N** に関して、江戸・大坂について説明した記述として、最も適切なものを次の **a～d** のうちから一つ選びなさい。

- a 大坂には諸藩の蔵屋敷が数多くおかれ、蔵物と呼ばれる年貢米や特産品が廻送され、本陣や脇本陣を通じて売りさばくことによって換金された。
- b 大坂には諸藩の蔵屋敷が数多くおかれ、所領から年貢米が廻米されてきて、諸藩はこれを堂島などの米市場で換金することで藩財政にあてた。
- c 江戸には全国の大名の屋敷や旗本・御家人の屋敷が集中していたが、古くから天皇家や公家の居住地があり、市中や近隣には寺院の本山・本寺や大神社も数多く存在した。
- d 江戸には町人地も存在しており、長屋の一部を借りて暮らす借家・店借を町人と呼び、町の運営が町名主・町年寄・月行事などに任せられ、町人たちは、数戸ずつ五人組に編成された。

問 15 下線部 **O** に関連して、元禄時代の作品として正しい組合せを次の **a～d** のうちから一つ選びなさい。

- a 「浮世風呂」      -      日光東照宮  
b 「日本永代蔵」      -      桂離宮  
c 「南総里見八犬伝」      -      洛中洛外図巻  
d 「曽根崎心中」      -      見返り美人図

Ⅳ 次の文章を読み、以下の問い（問16～問20）に答えなさい。

1914（大正3）年6月、サラエヴォ事件をきっかけに、第一次世界大戦が始まった。日本は、日英同盟を口実に対独宣戦を布告し、○中国におけるドイツ権益を接収したのをはじめとして、中国大陸への勢力進出の野心を鮮明にした。日本国内は、大戦景気に沸き、貿易黒字により一気に債務国から債権国へと転じた。4年以上続いた第一次世界大戦はドイツ側の敗北で終わり、1919（大正8）年1月からパリで講和会議がひらかれ、○ヴェルサイユ条約が締結された。この戦後秩序をヴェルサイユ体制と呼ぶ。

いっぽう、戦争がおわったことで、日本の国内経済は戦後恐慌に見舞われる。さらに1923（大正12）年9月の関東大震災によって、京浜地区に甚大な被害を受け、不況が深刻化した。震災によって決済不能になった震災手形の存在は、金融恐慌の引き金となった。この金融恐慌に際して、蔵相 □ **X** は、□ **Y** を発し、さらに日銀から20億円近くの非常貸し出しを行って恐慌を鎮めることができた。しかし、恐慌を脱してからでも日本経済の苦境は続くのであった。

問16 下線部Pに関連して、第一次世界大戦が始まる前の出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のa～dのうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ シーメンス事件
- Ⅱ 第2次大隈内閣の成立
- Ⅲ 軍部大臣現役武官制の改正

a Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      b Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ      c Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      d Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ

問17 下線部Qに関連して、第一次世界大戦中における日本の大陸進出に関して述べた次の文ア・イについて、その正誤の組合せとして正しいものを下のa～dのうちから一つ選びなさい。

- ア 中国に対する商業上の門戸開放・機会均等などを取り決めた「石井・ランシング協定」がイギリスとの間で結ばれ、中国における利害の調整をはかった。
- イ 日本人居留民の保護を理由に、3度にわたって山東省へ陸軍を派兵した「山東出兵」がおこなわれ、第1次山東出兵のあとには東方会議を開いて中国問題を協議した。

a ア 正      イ 正      b ア 正      イ 誤  
c ア 誤      イ 正      d ア 誤      イ 誤

問18 下線部Rに関して、第一次世界大戦期における日本の好景気について説明した記述として、最も適切なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 世界的な船舶不足のために、海運業・造船業が盛んとなり、船成金が次々と登場した。
- b 輸出の拡大によって繊維業が一層盛んとなり、渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社が開業した。
- c 半官半民の南満洲鉄道株式会社が大连に設立され、日本から連合国への鉄鋼輸出が拡大した。
- d ドイツからの輸入が途絶えたために化学工業が勃興し、新興財閥の日産が登場した。

問19 下線部Sに関連して、第一次世界大戦後に日本が締結した海軍軍縮条約に関する説明として最も適切なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a ワシントン海軍軍縮条約では、主力艦の保有比率を全体でおよそ米英10、日本7としたが、海軍軍令部の反対をおさえて条約に調印したこと、政府は統帥権干犯問題を引き起こした。
- b ワシントン海軍軍縮条約では、補助艦の保有量の比率を米英5、日本3、仏伊1.67とし、今後10年間主力艦を建造しないことを取り決め、老朽艦の廃棄や戦艦の建造中止などが実施された。
- c ロンドン海軍軍縮条約では、主力艦の保有量の比率を米英5、日本3、仏伊1.67とし、今後10年間主力艦を建造しないことを取り決め、老朽艦の廃棄や戦艦の建造中止などが実施された。
- d ロンドン海軍軍縮条約では、補助艦の保有比率を全体でおよそ米英10、日本7としたが、海軍軍令部の反対をおさえて条約に調印したこと、政府は統帥権干犯問題を引き起こした。

問20 空欄 □ **X** と □ **Y** に入る人物と語句の正しい組合せを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a X 田中義一      Y 緊急勅令
- b X 片岡直温      Y 棄捐令
- c X 高橋是清      Y モラトリアム
- d X 若槻礼次郎      Y ドッジ・ライン

V 以下の問い（問 21・問 22）について、各問の指示に従って解答用紙の解答記入欄に記述しなさい。

問 21 江戸幕府が 1825 年（文政 8 年）に出した異国船打払令（無二念打払令）の内容と、その結末について、120 文字程度で説明しなさい。

問 22 浜口雄幸内閣による、金の輸出解禁（金解禁）の内容と、その結末について、120 文字程度で説明しなさい。